類型 宮崎県

石田 哲朗さん 82歳

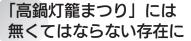
町内の観光地や公民館の看板作りなど、木工創作は故郷への恩返しと生きた証。

自分で道具を買い揃えて 独学で木工創作を開始

石田哲朗さんは、今から15年前の定年退職後に「故郷に恩返しをしたい」という思いから、自分で道具を買い揃え、独学で木工を始めました。

今ではボランティアで町内の観光地や公民館などの 看板作り、地域で盛り上がる「高鍋城灯籠まつり」に おいて、高鍋城を復元したオブジェや案内看板の製作 などを行っています。

また、そのほかにも宮崎県の地元の「高鍋大師」「高鍋湿原」「持田古墳群」などの PR 看板や公民館の表示看板も無償で製作しています。



特に、石田さんが強い思い入れを持っているのは、高鍋町の一大イベントで、昨年には14回目を迎えた「高鍋城灯籠まつり」。この祭りには、第1回目から参加し、城下町にふさわしい雰囲気づくりにも一役買っています。

昨年からは、祭りがマンネリ化しないようにと、新たに甲冑の製作に取り組んでいます。インターネット や図説本などで資料を集めるなどし、甲冑を自作し、



甲胄製作作業]



甲胄製作作業 2

城下町にふさわしい勇壮な武者行列を登場させ、祭り の更なる魅力アップを図っています。

実行委員会のメンバーでもある石田さんは、今では 「高鍋町灯籠まつり」を開催するうえで、無くてはな らない存在になっています。

手先の器用さを生かした 創作活動で故郷へ恩返し

観光地や公民館の看板づくりなど、創作活動をほぼ 毎日行っている石田さん。もともと手先が器用で家庭 や職場での大工仕事が得意だったことが、今の木工の 創作活動のきっかけでした。

「故郷への恩返しと自らの生きた証として、これからも創作活動を行っていきたい。特にライフワークとなっている『高鍋城灯籠まつり』では、昨年に引き続き、甲胄の制作を行って武者行列を充実させるつもりです」と、石田さんは意欲を覗かせています。石田さんの活動は観光 PR の一端として、地域の活性化に貢献しています。